

防災100年えほん出版記念フォーラム2024の開催

－創作絵本で伝え広げる、災害語り継ぎと防災・減災－

令和4年度より開始した「防災100年えほんプロジェクト」による、最初のオリジナル絵本3冊の出版を記念したフォーラムを開催。

※防災100年えほんプロジェクト・・・100年先の未来まで伝えたい防災の知恵を物語りに託し、数世代先の人々に届く防災絵本を制作するプロジェクト。防災絵本の制作を通じ、①災害文化の定着、②世界の防災・減災に貢献、③SDGsの一環として実施していくことを目的とする。

● フォーラム概要

- (1) 日 時 令和6年3月17日（日）14:00～16:00
- (2) 場 所 人と防災未来センター 東館1階こころのシアター
- (3) 内 容



【第1部】(14:00～)

・ 第2期 防災100年ものがたり(絵本の原案)入選作品表彰

- ▶ 選定委員会による評価の結果、応募のあった68作品のうち6作品を選定

・ 第1期 防災100年えほん 出版絵本3冊の報告・披露

- ▶ 絵本をスクリーン投影による読み聞かせで初公開するとともに、各絵本の原案者、絵本著者、編集者から絵本完成に至るまでの出来事などについてコメントをいただく

● 出版絵本（詳細別紙）

- ・ たったひとつのおやくそく（原案者：横林良純、絵本著者：金澤麻由子）
- ・ おじぞうさんのおけししょうがかり（原案者：御崎あおい、絵本著者：たさききょうこ）
- ・ ぼうさいバッグのちいさなポケット（原案者：たかますあやか、絵本著者：twotwotwo（ににに））

【第2部】 (15:10～)

・防災100年えほんトークリレー

- ▶ 防災100年えほんプロジェクトに尽力いただいた方々をゲストに迎え、プロジェクトの意義や今後の期待などについて、それぞれの立場からお話しいただく

<登壇者（予定）>

- ・古賀 涼子 氏（アナウンサー・絵本専門士・防災士・「防災絵本」のコレクター）
 - ・住田 功一 氏（大阪芸術大学教授・防災100年ものがたり選定委員）
 - ・池上 三喜子 氏（公益財団法人市民防災研究所理事・特別研究員・防災100年ものがたり選定委員）
 - ・瀬戸 真之 氏（東日本大震災・原子力災害伝承館 学芸員）
 - ・マリ・エリザベス 氏（東北大学 災害科学国際研究所 准教授・人と防災未来センターリサーチフェロー）
- 全体進行：大西 友子（アナウンサー・絵本専門士・ラジオパーソナリティ）

(4) 主催 防災100年えほんプロジェクト実行委員会

<構成団体> ひょうご安全の日推進県民会議

公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

(5) 参加方法 参加申込フォームからの申込（要事前申込・参加費無料） 人と防災未来センターHPからのご登録いただけます。



【参加申込フォーム】

【出版絵本の概要】

タイトル	たったひとつのおやくそく	おじぞうさんのおけしょうがかり	ぼうさいバッグのちいさなポケット
原案者	横林 良純	御崎あおい	たかますあやか
絵本著者	金澤 麻由子	たさききょうこ	twotwotwo (ににに)
表紙			
内容	「大きな地震が起きたらどうする？」まりちゃんはお母さんと大切な約束を交わしました。	海辺の街を見下ろす丘に通うおばあさん。ある日、出会った子どもたちにその理由を打ち明けます。	いつもお父さんが向かう倉庫。興味津々のまーくんは、ある日、後を追って中をのぞいてみます。

【販売価格】 各1,650円（消費税込）／冊（書店等で3月下旬頃から販売予定）

【出版】 神戸新聞総合出版センター

※フォーラム当日、東館1階ロビーにて出版絵本の販売会を行います。